

昭和五十年五月招集

第二回館山市議會臨時會會議錄第一号

館山市議會

目次

日 時	一
場 所	一
出 席 議 員	一
欠 席 議 員	一
出 席 説 明 員	一
出 席 事 務 局 職 員	一
議 事 日 程	二
臨 時 議 長 の 紹 介 及 び あ い さ つ	二
開 会	二
出 席 説 明 員 の 報 告	二
市 長 の あ い さ つ	二
仮 議 席 の 指 定	三
議 長 の 選 挙	四
議 長 の あ い さ つ	五
議 事 日 程 の 配 付	六
議 席 の 指 定	六
会 議 録 署 名 議 員 の 指 名	六
会 期 の 決 定	七
会 議 時 間 の 延 長	七
副 議 長 の 選 挙	七
副 議 長 の あ い さ つ	八
延 会	八
本 日 の 会 議 に 付 し た 事 件	八

一、昭和五十年五月九日（金曜日）午前十時			
一、館山市役所議場			
一、出席議員 三十名			
一 番	吉 田 勇治郎	二 番	伊 藤 幸太郎
三 番	安 戸 寿 夫	四 番	押 元 稔
五 番	黒 川 平 治	六 番	鈴 木 正 義
七 番	本 間 昭 二	八 番	松 下 正 己
九 番	鈴 木 稔	一 〇 番	流 山 源次郎
一 番	近 藤 好 雄	一 一 番	栗 原 一 雄
二 番	林 豊	一 二 番	石 井 輝 久
三 番	辻 田 実	一 三 番	安 西 益 男
四 番	石 井 武 敏	一 四 番	渡 辺 軍治郎
五 番	渡 辺 昭 夫	一 五 番	和 田 一 郎
六 番	田 中 禄 郎	一 六 番	五 十 嵐 昇
七 番	菊 井 敏 博	一 七 番	西 村 真 次
八 番	伊 賀 多 朗	一 八 番	藤 田 益 治
九 番	遠 山 ヨネ子	一 九 番	石 井 正
一 〇 番	望 月 照 正	二 〇 番	山 口 康
一、欠席議員 なし			
一、出席説明員			
市 長	半 沢 良 一	助 役	畠 山 伝
一、出席事務局職員			
事 務 局 長	高 尾 豊	事 務 局 長 補 佐	石 井 敏 夫
書 記	兵 藤 恭 一	書 記	鈴 木 哲
書 記	安 西 良 一	書 記	川 上 義 雄

書 記 福 田 英 雄

一、議事日程(第一号)

昭和五十年五月九日午前十時開議

日程第一 議席の指定

日程第二 会議録署名議員の指名

日程第三 会期の決定

日程第四 副議長の選挙

日程第五 千葉県競輪組合議会議員選挙

日程第六 館山市及び三芳村伝染病隔離病舎組合議会議員選挙

日程第七 三芳水道企業団議会議員選挙

日程第八 館山市・富浦町及び三芳村学校給食組合議会議員選挙

日程第九 常任委員会委員の選任について

日程第十 議案第四十号 監査委員の選任について

日程第十一 議案第四十一号 館山市市税条例の一部を改正する条例の専決処分承認について

臨時議長の紹介及びあいさつ

○事務局長(高尾 豊君) 一般選挙後最初の議会でありますので議長が選挙されますまでの間、地方自治法第七七条の規定によりまして、年長議員さんが臨時に議長の職務を行なうことになっております。

そこで、本日の出席議員中山口 康さんが年長の議員さんでありますので御紹介申し上げます。

(年長議員山口 康君議長席に着く)

○臨時議長(山口 康君) ただいま紹介されました山口 康であ

ります。

地方自治法第七七条の規定により、年長なるがゆえに臨時に議長の職務を行ないます。いたって議事不なれてございますが、一生懸命努力いたしますので、どうぞよろしく満場の皆様方の絶大なる御協力を切にお願い申し上げます。

開

会 午前十時十分開会

○臨時議長(山口 康君) ただいまの出席議員数三十名、これより昭和五十年第二回市議会臨時会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

出席説明員の報告

○臨時議長(山口 康君) 本臨時会に地方自治法第二百一一条の規定により半沢市長、畠山助役以上の出席を求めましたので報告いたします。

市長のあいさつ

○臨時議長(山口 康君) この際、市長よりあいさつしたいとの申し出があります。暫時これを許します。

(市長半沢良一君登壇)

○市長(半沢良一君) 臨時市議会にあたりまして、まずお祝いとごあいさつ申し上げたいと存じます。

今回、議員の皆さま方に置かれましたは、去る四月二十七日に執行されました市議会議員選挙により、市民の厳正な審判の結果、はえある御当選の榮譽を得られましたことは、まことにめでた

い次第でございます、衷心からお祝い申し上げますと同時に、改選後初の臨時市議会を招集しまして、市政運営につきましても会議をもちますことができますことは、まことに御同慶にたえない次第でございます。今後よろしく御指導、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年以來国際情勢の変遷に伴い、日本経済もわれわれがかつて経験したことのないさまざまな問題をかかえ、市民生活もきわめてきびしい今日を迎えております。特に地方財政にとつても本年は二十年來のきわめて逼迫した現況下に置かれているわけでございます。私はこの重大なときにあたり、市民一体となつて市政展に向かつて全力を傾注してまいりたいと存じます。

特に市政運営の基本を昨年樹立されました館山市総合計画による長期的展望に立つて、今日の社会情勢に対応しつつ改善すべきものは改善して、計画的な施策の推進をはかりたいと考えております。

そのためには、まず人間尊重、市民生活優先を基本理念として、環境の改善、教育の振興、福祉の充実、産業の振興及び観光の開発を最重点目標として、香り高い文化福祉都市の実現に向かつて鋭意努力してまいりたいと存じておるわけでございます。

しかしながら、市政運営の基盤はもちろん積極的な御協力なくしては望み得ないものであります。今後ともより一そう議員各位の絶大な御支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本日の付議案件は、改選後の正、副議長及び一部事務組合の委員選挙並びに常任委員の選任関係でございます。これらは

議会の円滑な運営をはかるためにまことに急を要するものでありますので、十分御審議くださいまして、すみやかに御決定くださいますようお願い申し上げます。

以上をもちまして、お祝いとごあいさつのことばといたします。

〇臨時議長（山口 康君） 以上で市長のあいさつを終ります。

仮議席の指定

〇臨時議長（山口 康君） この際議事の進行上、仮議席を指定いたします。

おはかりいたします。ただいま御着席の議席を、議長が選挙されました議席が決定されるまでの間、仮議席といたします。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

〇臨時議長（山口 康君） 御異議なしと認めます。よつて決しました。

暫時休憩いたします。

午前十時 十五分 休憩

午前十一時五十八分 再開

〇臨時議長（山口 康君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議事進行の発言

〇七番（石井輝久君） 議事進行について動議を提出いたします。

ただいま休憩中の選考委員会の決定御苦勞までございました。

ただ、先ほども全員協議会で発言いたしました、地方自治法によつて決定は拘束されるものではないという局長さんの御発言が

ございました。それはそれとして、暫時休憩をお願いしたいと思います。

○臨時議長（山口 康君） 引き続き会議を続行いたします。

○七番（石井輝久君） くどいようですが、とにかく昼めし時間というの理由になりませんでしょうけれども、とにかく暫時休憩を望みます。

○事務局長（高尾 豊君） いまのは議事進行の発言でございます、勅諭ではございませんので、おはかりいたしません。

議長の決定に従って行ないます。

○七番（石井輝久君） もう一べん。議事進行ですよ、休憩だつて。

○臨時議長（山口 康君） 本件につきましては事務局長より御説明申し上げます。

○事務局長（高尾 豊君） ただいまの石井議員さんの御発言は議事進行でございます。でありますので、議長の裁断によって進められることになります。皆さんにおはかりはいたしません。勅諭ではございませんので。

○七番（石井輝久君） 局長さん、議事進行の勅諭ですよ。

○事務局長（高尾 豊君） 勅諭の成立は一名以上の賛成者を必要とします。議事進行の場合は御自身でもって発言できるわけで、勅諭ということばが入りますと一名以上の賛成者がないと勅諭にはなりません。

○七番（石井輝久君） わかりました。勅諭ということばは撤回いたします。

議事進行について暫時休憩を求めます。

○臨時議長（山口 康君） 続行いたします。

議長 の 選挙

○臨時議長（山口 康君） これより議長の選挙を行ないます。

選挙の方法については投票によることと、指名推選によることがあります。どの方法によりますか。御意見を伺います。

○一九番（辻田 実君） 議長指名によることの投票をお願いいたします。

失礼いたしました。指名推選によって決定していただきたいと思ひます。

○一七番（渡辺軍治郎君） いまの指名推選というと、議長推選で投票によらないことになりますか。

これはそうなりますと相当問題があると思うんですよ。私は選挙委員会の選考を認めていないわけですから、そういう議員もいるわけです。したがって私は複数の候補者をあげてそれで投票によってきめべきだということを主張してきたわけです。いまもその考えはかわりございませんから、当然公正を期す意味で投票によってきめべきだというふうに考えます。

○七番（石井輝久君） 私も渡辺議員の御発言に同意いたします。

同意いたしますが、複数ということでございます、一名の名前はもちろん決定、先ほどの御報告で伺っております。複数ということになりますと、先ほどの選考でもかなりの時間を要しております。したがって複数ということになりますとさらに選考の必要を生ずると思ひます。したがって繰り返しますが、暫時休憩をお願いいたします。

○臨時議長（山口 康君） 続行いたします。

選挙の方法は投票によることに決しますことに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○臨時議長(山口 康君) 御異議なしと認めます。よって議長の選挙は投票によって行ないます。

議場の閉鎖を命じます。

(議場閉鎖)

○臨時議長(山口 康君) ただいまの出席議員数は三十人であり
ます。

投票用紙を配付いたさせます。

(投票用紙配付)

○臨時議長(山口 康君) 投票用紙の配付漏れはありませんか。

— 配付漏れなしと認めます。

投票箱を改めさせます。

(投票箱点検)

○臨時議長(山口 康君) 異状なしと認めます。

念のため申し上げます。投票は単記無記名であります。投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、点呼に応じて順次投票願います。点呼を命じます。

(事務局長補佐氏名点呼、投票)

○臨時議長(山口 康君) 投票漏れありませんか。— 投票漏れなしと認めます。

投票を終了いたします。議場の閉鎖を解きます。

(議場開鎖)

○臨時議長(山口 康君) これより開票を行ないます。

会議規則第三十一条第二項の規定により、立会人に田中禄郎君及び安西益男君を指名いたします。よって両君の立ち会いを願います。

(立会人登壇、開票)

○臨時議長(山口 康君) 選挙の結果を報告いたします。

投票総数三十票、これは先ほどの出席議員数に符合いたしました。ります。

そのうち有効投票二十六票、無効投票四票。

有効投票中吉田勇治郎君二十三票、西村真次君三票、以上のとおりであります。

この選挙の法定得票数は七票であります。よって吉田勇治郎君が議長に当選されました。

ただいま議長に当選されました吉田勇治郎君が議場におられますので、本席より会議規則第三十二条第二項の規定による告知をいたします。

議長のおいさつ

○臨時議長(山口 康君) この際、議長吉田勇治郎君を御紹介いたします。

(議長吉田勇治郎君登壇) (拍手)

○議長(吉田勇治郎君) ただいまははえある館山市議会の議長に御推薦をいただきまして、ほんとうに光榮に存ずるものでございます。

浅学非才そのものではありませんが、今後は各位の御協力と理解のもとに市政の進展は当然のことでございますが、議会運営に、特

にスムーズな運営に努力し、議会の権威高揚につとめてまいりたいと、かように信ずるものであります。

今後とも特段の御協力と御理解を申し上げまして、簡単でございますが、ごあいさつにかえさせていただきます。(拍手)

○臨時議長(山口 康君) 以上で臨時議長による議長選挙を無事終了させていただきます。

申すまでもなく皆さま方の絶大なる御協力のたまものでありまして、深く感謝申し上げます。

本市の議長としまして、学識、識見共に優秀な吉田勇治郎君を選任、御就任となりましたので、この際吉田議長さんの御発展をお祝いし、今後ますます市政進展のため格段の御活躍を御期待申し上げます。皆さま方の私に寄せられました御支援と御協力を感謝申し上げます。臨時議長の職務を終らせていただきます。まことにありがとうございます。(拍手)

(議長、議長席に着く)

○議長(吉田勇治郎君) 暫時休憩いたします。

午後零時二十三分 休憩
午後四時四十五分 再開
○議長(吉田勇治郎君) 午後の出席議員教三十名、休憩前に引き継ぎ会議を開きます。

議事日程の配付

○議長(吉田勇治郎君) 議事日程を配付いたします。配付漏れございませんか。――配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手もとに配付の日程表により行ないます。

議席の指定

○議長(吉田勇治郎君) 日程第一、議席の指定を行ないます。議席は、会議規則第四条第一項の規定により、議長において指定いたします。

議員諸君の氏名とその議席の番号を職員をして朗読させます。

○事務局長補佐(石井敏夫君) 朗読いたします。

一番 吉田勇治郎さん	二番 伊藤幸太郎さん
三番 矢野 寿夫さん	四番 押元 稔さん
五番 黒川 平治さん	六番 鈴木 正義さん
七番 本間 昭二さん	八番 松下 正己さん
九番 鈴木 稔さん	一〇番 流山源次郎さん
一番 近藤 好雄さん	一二番 栗原 一雄さん
一三番 林 豊さん	一四番 石井 輝久さん
一五番 辻田 実さん	一六番 安西 益男さん
一七番 石井 武敏さん	一八番 渡辺軍治郎さん
一九番 渡辺 昭夫さん	二〇番 和田 一郎さん
二一番 田中 禄郎さん	二二番 五十嵐 昇さん
二三番 菊井 敏博さん	二四番 西村 真次さん
二五番 伊賀 多明さん	二六番 藤田 益治さん
二七番 速山ヨネ子さん	二八番 石井 正さん
二九番 望月 照正さん	三〇番 山口 康さん

以上でございます。

○議長(吉田勇治郎君) ただいま朗読いたしましたとおり、各議員の議席を指定いたします。

会議録署名議員の指名

○議長（吉田勇治郎君） 日程第二、会議録署名議員の指名を行ないます。

二番議員伊藤幸太郎君、二九番議員望月照正君、以上両君を指名いたします。

会期の決定

○議長（吉田勇治郎君） 日程第三、会期の決定を行ないます。

会議規則第五条第一項の議会運営協議会がまだありませんので、同条ただし書の規定により直ちに議長よりおはかりいたします。

本臨時会の会期を本日から五月十日までの二日間といたしたいと思ひます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君） 御異議なしと認めます。よって会期は二日間と決定いたしました。

会議時間の延長

○議長（吉田勇治郎君） おはかりいたします。

本日の会議時間は、議事の都合によりこの際あらかじめこれを延長したいと思ひます。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君） 御異議なしと認めます。よって本日の会議時間は延長することに決定いたしました。

副議長の選挙

○議長（吉田勇治郎君） 日程第四、副議長の選挙を行ないます。議場の閉鎖を命じます。

（議場閉鎖）

○議長（吉田勇治郎君） ただいまの出席議員数三十人です。投票用紙を配付いたさせます。

（投票用紙配付）

○議長（吉田勇治郎君） 投票用紙の配付漏れはございませんか。

— 配付漏れなしと認めます。

投票箱を改めさせます。

（投票箱点検）

○議長（吉田勇治郎君） 異状なしと認めます。

念のため申し上げます。投票は単記無記名であります。投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、点呼に応じて順次投票を行ないます。

点呼を命じます。

（事務局長補佐氏名点呼、投票）

○議長（吉田勇治郎君） 投票漏れはありませんか。— 投票漏れなしと認めます。

投票を終了いたします。議場の閉鎖を解きます。

（議場開鎖）

○議長（吉田勇治郎君） これより開票を行ないます。

会議規則第三十一条第二項の規定により立会人に安西益男君及び田中祿郎君を指名いたします。よって両君の立ち会いを願います。

（立会人登壇、開票）

○議長（吉田勇治郎君） 選挙の結果を報告いたします。

投票総数三十票、これは先ほどの出席議員数に符合いたしております。

そのうち有効投票二十七票、無効投票三票。

有効投票中西村真次君二十四票、渡辺軍治郎君三票、以上のとおりであります。

この選挙の法定得票数は七票であります。よって西村真次君が副議長に当選されました。

ただいま副議長に当選されました西村真次君が議場におられますので、本席より会議規則第三十二条第二項の規定による告知をいたします。

副議長のあいさつ

○議長（吉田勇治郎君） この際副議長西村真次君を御紹介いたします。御登壇願います。

（副議長西村真次君登壇）（拍手）

○副議長（西村真次君） ただいま各位の御推挙をいただきまして副議長の席を担いましたこと、まことに恐縮にたえませんと同時に、責任の重さを痛感いたす次第でございます。

先ほど議長のごあいさつにもございましたように、市政推進の基盤であるべき市議会のあり方といたしましては、もっぱら議員間相互の情義と真摯を尊重しながら、円満、融和のうちに運営を進めることが最も好ましい姿ではなからうかと存じます。

こうした考え方のもとに、合わせてまして議長補佐の使命を休しまして、微力ではございますが、今後つとめてまいりたい、かよ

うに考えておりますので、どうぞ格段の御協力と御叱正を賜りますようお願いを申し上げて、ごあいさついたします。（拍手）

延 会 午後五時十三分延会

○議長（吉田勇治郎君） おはかりいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思えます。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（吉田勇治郎君） 御異議なしと認めます。よって本日はこれにて延会することに決しました。

次会は五月十日午前十時開会いたします。その議事は議会構成の決定に関するもの及び議案審議といたします。

本日はこれにて延会いたします。

○本日の会議に付した事件

一、議長の選挙

一、議席の指定

一、会議録署名議員の指名

一、会期の決定

一、会議時間の延長

一、副議長の選挙

